

# 文教厚生委員会 活動報告

令和5年度 牧之原市議会

【委員長】 中野康子 【副委員長】 濱崎一輝

【委員】 村田博英 加藤彰 松下定弘 絹村智昭 石山和生

# 政策提言に向けた

## 『所管事務調査』

牧之原市議会では委員会ごとに所管事務調査事項を定め、1～2年で調査研究を行い、市に政策提言を行っている。

そこで、文教厚生委員会では・・・

2つのテーマを選定

去年は

①高齡化社会対策について

今年は

②人口増加に繋がる魅力ある  
子育て施策について

# ①高齡化社会対策について

このテーマの重要な観点として

◎フレイル予防

◎高齢者の社会参加

に絞り

- (1) 市の所管課との各種施策の勉強会
- (2) 食の専門家とフレイル予防の勉強会
- (3) 須々木区と「支え合い生活支援事業」  
の市民会議  
等を実施



# 「提言内容」

## 1. フレイル予防施策について



### (1) 施策の更なる周知

「元気アップ体操」「まきトレ」を中心に、高齢者の運動へのきっかけづくりに努めるとともに、さまざまな施策の周知を図ること。

### (2) 若い世代への健康づくり

フレイル予防には若いうちからの運動習慣づけが大切である。若い世代の健康課題を分析し、健康づくりに努めること。

### (3) 専門的な知見を有した方々の地域への派遣

保健師の地区担当制を活かしながら、理学療法士や管理栄養士などの専門家と連携し、地域の健康課題の解決に取り組むこと。

### (4) 食を通じたフレイル予防

仲間と一緒に食事をするのが、フレイル予防や社会参加にもつながることから「共食」の大切さを伝える取り組みを進めること。

## 2. 高齢者の社会参加について



### (1) 各地域が実施している事業の共有

市内にはさまざまな事業を実施している地域があることから、各地域の取り組みを周知することや共有する場づくりについて検討すること。

### (2) 移動手段への支援

高齢化に伴い、移動手段への支援が今以上に必要となってくる。

「公助」に限らず「共助」の部分も含め、各部門が連携して、高齢者が気軽に社会参加できるための体制を構築すること。



**市長に対し、令和4年12月に「提言書」を提出**

## ②人口増加に繋がる魅力ある子育て施策について

このテーマの重要な観点として

◎市の魅力の1つである

サーフィンの活用

◎多年代で利用できる

全天候型子育て支援施設

に絞り



(1) 市の所管課による子育て施策に関する勉強会

(2) 子育て中の保護者との市民会議

(3) 相良高校サーフィンサークルとの市民会議

(4) 県内外の先進地への視察研修

等を実施



# これまでの取り組み①

〈子ども子育て課、こどもセンター、  
保育園民営化推進室〉

## ●子育て施策に関する勉強会 (令和4年3月24日)

(内容)

### ◆子育て施策の実態把握について

児童相談におけるソーシャルワークとは…

家族全体のウェルビーイング(幸せ)  
の向上を図ること

子どもの健全な発達を目指し、保護者も支援するもの。

⇒子育ての悩みや不安は、保護者だけが抱えるべきではなく  
社会全体で支えていく!!

家庭分離で“懲らしめる”ことが使命ではない

子どもの安全に焦点を当て協働的に家族を中心にすえた支援を行う  
⇒対等の立場で、協力し共に働く





# これまでの取り組み②

〈市内の幼稚園・保育園〉

## ●子育て中の保護者との 市民会議(令和4年6月27日)

(内容)

### ◆保護者の方々と 子育て施策に関する 意見交換



- ・雨の日でも遊べる室内パークが欲しい。
- ・公園の近くにカフェがあり、wi-fiが使えると嬉しい。
- ・子供を見てもらうというよりは、家事をしてもらえるようなサービスが欲しい。
- ・サービスと、子育て世帯が求めているものとのギャップがあると感じる。
- ・子供たちと一緒に楽しめるアートや、音楽などのイベントなどが増えてほしい。

## これまでの取り組み③

### ●相良高校サーフィンサークルとの市民会議 (令和5年6月21日)

全国に誇れる牧之原市の魅力であるサーフィンを活用した子育て施策を大きな柱の一つにするために、実際にサーフィンを行っている生徒から生の声を聴くことで、今後の調査研究に活かしていく。

#### (内容)

- ◆ サーフィンサークルに入ったきっかけ
- ◆ サークル活動を行い感じていること
- ◆ 幼少期からサーフィンに触れる機会を設定することについてどう思うか



# これまでの取り組み④

## ●県内先進地の視察研修（令和5年7月21日）

### ・島田市「島田市こども館」

子ども・保護者・家族と多世代が集まることを目的に整備された施設で、乳幼児から小学生までが年代にあった遊びができるようになっている。また、一時託児や児童館機能、ファミリー・サポート・センター事務局も設置されている。



### ・焼津市「ターントクルこども館」

こども図書館「やいづえほんと」、「焼津おもちゃ美術館」が併設された施設で、集い・遊び・学びを基本理念に、子どもを中心として幅広い世代の人と地域をつなぐ多世代交流連携拠点となっている。





# これまでの取り組み④

## ● 県外先進地の視察研修（令和5年8月8日～10日）

### ・ 岡山県奈義町：子育て支援施策について

町を存続させていくために、少子化対策・子育て支援に力を入れ2014年の「奈義町子育て応援宣言」から10年間。町民とともに地域ぐるみの町独自の手厚い子育て支援策、合計特殊出生率2.95（令和元年）が評価され、第3回日本子育て支援大賞を受賞。



## • 三重県四日市市：「橋北交流会館」

子どもや子育てに関わる人達が活動・交流する場として土日祝日でも利用できる「こども子育て交流プラザ」、市内の保育士や教員を対象にした「幼児教育センター」、子育て支援センターを備えた「橋北こども園」などで構成された、廃校を活用した子育て支援の複合施設である。

## • 愛知県豊橋市：「こども未来館ここにご」

子どもを中心とした市民が交流し、活動する多世代交流の場であり、まちなかに賑わいや楽しさを発信する拠点となることを目的としている。更に、子育て支援の拠点施設として、切れ目のない子育て支援事業をチャイルドサポーター（保健師、保育士）が中心となって実施している。



# 「提言内容」



## 1. サーフィンを活用した施策について

### (1) 国内唯一のサーフスタジアムの活用

親世代の県外サーファーに興味を持ってもらうために、当該スタジアムを親子や市内の学校で体験できる機会を設けるなど、立地を生かした施策を検討すること。

### (2) サーフィン体験の機会を創出

既に市内のいくつかの小中学校では、学校のプールを活用したサーフィン体験を実施している。これを市内全ての小中学校で実施することを検討すること。

### (3) サーフィンを核にした留学制度

他県に住む子育て世代に、当市の魅力を知ってもらうために、幼児のいる家庭を対象とした短期留学制度について検討すること。



## 2. 多年代で利用できる全天候型子育て支援施策について

### (1) コンセプト等

近隣市町にも同様の施設が設置されていることから、差別化を図るためにも当市の特色を生かしたコンセプトを検討すること。

### (2) 施設の機能

子どもの遊び場に限らず、「学びの場」となるような工夫と、子どもと親が交流できる場、幅広い年代の方々が交流できる場について検討すること。

### (3) 学校閉校後の跡地活用との関連

学校再編に伴う学校閉校後の跡地活用が検討されているが、学校跡地を活用することで建設費等の抑制が可能であると考えことから、跡地活用についても検討すること。



市長に対し、令和5年9月に「提言書」を提出

令和5年度 牧之原市議会

# 文教厚生委員会活動報告

ご清聴いただき

どうもありがとうございました